

生活科 学習指導案

1. 日 時 令和5年12月19日(火) 13:30~14:10

2. 場 所 小学部 高ホール

3. 学年・組 小学部

4. 単元(題材)名 給食がみんなのもとに届くまで

5. 単元(題材)の目標

- ・給食調理員がどんな作業をしているか知る。(知識・技能)
- ・給食調理員の仕事を知り、感じたことを表現することができる。(思考力・判断力・表現力)
- ・楽しみながら主体的に学習に取り組もうとする。(学びに向かう力・人間性等)

6. 食育の視点

- ・食物に大事にし、食事に携わる人々へ感謝する心をもつ。【感謝の心】

7. 教材観

本題材は、特別支援学校小学部学習指導要領より生活科の目標である「(2) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現できるようにする。」を達成するために、1段階「イ 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。」内容「ア基本的な生活習慣 (ア) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。」および、2段階の「イ 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて気付き、感じたことを表現しようとする。」内容「ア基本的な生活習慣 (ア) 必要な身辺処理が分かり、身近な生活に役立てようとする。」を取り上げる。

教材には絵本『給食室のいちにち』を設定する。絵本『給食室のいちにち』では、とある小学校の給食室を取り上げ、栄養士や給食調理員の1日の仕事の流れを紹介している。絵本の中から取り扱う内容を「身じたく」、「下ごしらえ」、「調理・配缶」、「後片付け」の4つに絞り、文章をより端的な言葉で表すなど、児童の実態に合わせて使用する。これまで第5学年では生活科の授業等で絵本を用いた学習を行ってきた。児童に親しみのある絵本を使用することにより、児童が給食調理員という存在を認識しやすくなるのではないかと考え、この教材を設定した。

本単元を通して、自分たちのもとへ給食が届くまでの過程を知ること、残さずきれいに食べることや食事の際の挨拶への意識を高め、好き嫌いをせず、食事を作ってくださっている給食調理員に対して『感謝の気持ち』をもって食べることの大切さに気付いてもらいたいと考える。

8. 児童(生徒)観

本学年は、障がいの状態は様々で、特別支援学校学習指導要領における小学部1段階から3段階の児童がおり、発達段階にも大きな幅がある。

給食を楽しみにしている児童も多く、給食の受け取りや返却も児童の実態に則した役割分担の上、学年全体で取り組んでいる。喫食の様子では、毎日完食できる児童もいる一方で、苦手な食べもの(野菜、きのこ、豆など)がある児童や、嗜好の偏りがある児童もいる。また、食事にかかる時間にもばらつきがある。担任による給食指導により、苦手な食べ物も必ず一口食べることは徹底できている。苦手な食べ物を認識し、食材の名前も分かるようになったことや、自ら口に運ぶようになったことなど、食べることへの意欲はみられる。しかし、好き嫌いが少なく進んで食べる児童であっても、皿に残った細かな食材に気づかないことも多く、食材を皿に残さずきれいに食べるという認識が低いと感じる。また、給食の食缶を返却する際、「ごちそうさま。」の挨拶を自らできる児童もいる一方で、担任の促しが無いと難しい児童もいる。

これらの実態を踏まえ、調理している様子や普段食べている給食を作ってくださっている給食調理員の存在への認識が低いと考えられる。

9. 指導観

全時共通して、絵本『給食室のいちにち』の読み聞かせを行う。本校の給食調理員の仕事を動画や写真を用いて紹介する。その後実際に自分たちで給食調理員の仕事を体験するという活動を繰り返す。1度絵本を読み仕事内容を知ることにより、児童が給食調理員という存在を認識しやすくなると考える。その後本校の給食調理員の仕事を動画や写真を見て知り、実際に自分たちで給食調理員の仕事を体験するという活動を繰り返すことで、「絵本の中の話」という認識からより「自分事」として捉えやすくなり、身近な人への『感謝の気持ち』が抱きやすくなるのではないかと考える。また、児童が見通しをもって活動できるよう電子黒板やホワイトボードに「授業のながれ」を示す。

第1時では、身だしなみについて取り扱う。身だしなみを整えるポイントを伝え、エプロンや三角巾の着衣を行い、それを押さえて第3時までエプロンと三角巾を着用の上で授業を行う。手洗いの活動では気を付けるポイントが分かりやすいように、「あわあわ手洗いの歌」を用いる。給食調理員が「安心安全な給食」をとどけるために徹底して身だしなみや清潔を意識していることを知り、給食受け取り時のルールや食事前のマナーとして、身だしなみや清潔を意識することが大切であることを気付かせたい。

本時である第2時では、「食材の下ごしらえ」について取り扱う。「びかびか野菜洗い」と称し、野菜の3度洗いを行う。どうして3回洗うのかを児童が考えながら野菜洗いの活動に取り組めるように発問する。

第3時では、「調理配缶について」、「片付け」について取り扱う。実際に使っている調理器具に触れること、調理器具の大きさやつくられる給食の量を知ることを通して、給食調理員の仕事を想像しやすくする。また、洗う食器の数や洗う手順を知ること、調理員さんの仕事の大変さを想像しやすくする。第2時、第3時の活動を通して、給食調理員の仕事の大変さを知り、普段食べている給食を作ってくれている給食調理員への『感謝の気持ち』を持てるように指導したい。

第4時では、第1時～第3時の振り返りを行い、これまでの活動や給食調理員の仕事を思い出しながら、感謝の気持ちを手紙に表す。また手紙だけでなく、毎日『感謝の気持ち』を表す方法として、残さずきれいに食べることや、食事前後に挨拶をすることなどを意識できるように指導したい。

10. 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 給食調理員の仕事の内容を知る。 ② 食事のマナーについて知る。 ③ 食事にかかわる身だしなみや衛生について知る。	① 正しくエプロンや三角巾を着用できる。 ② 正しい手順で手洗いができる。 ③ 野菜の汚れを落とすことができる。 ④ 洗った野菜や水を見比べて汚れの違いに気付くことができる。 ⑤ 調理器具に触れ、その大きさや量、重さを感じながら活動できる。 ⑥ 給食調理員への『感謝の気持ち』を手紙に表すことができる。	① 楽しみながら学習に取り組もうとしている。 ② 振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしている。

11. 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時	学習内容・学習活動	主な評価規準【観点】・評価方法等
第1時	◎身だしなみを整えよう ・絵本『給食室のいちにち』読み聞かせ ・正しい身だしなみの確認、着衣 ・正しい手洗いの仕方の確認、実施	【知識・技能】（観察） ・給食調理員の仕事を知る。 ・食事のマナーについて知る。 ・食事にかかわる身だしなみや衛生について知る。 【思考・判断・表現】（観察） ・正しくエプロンや三角巾を着用できる。 ・正しい手順で手洗いができる。 【主体的に取り組む態度】（観察・活動） ・楽しみながら学習に取り組もうとしている。 ・振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしている。
第2時 (本時)	◎下ごしらえについて知ろう ・絵本『給食室のいちにち』読み聞かせ ・野菜の3度洗いを体験する	【知識・技能】（観察） ・給食調理員の仕事を知る。 【思考・判断・表現】（観察） ・正しくエプロンや三角巾を着用できる。 ・野菜の汚れを落とすことができる。 ・洗った野菜や水を見比べて汚れの違いに気付くことができる。 【主体的に取り組む態度】（観察・発表） ・楽しみながら学習に取り組もうとしている。 ・振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしている。
第3時	◎調理や配缶について知ろう ◎片付けについて知る ・絵本『給食室のいちにち』読み聞かせ ・調理器具に触れる ・疑似配缶を体験する ・片付けの手順や洗う皿の量を知る	【知識・技能】（観察） ・給食調理員の仕事を知る。 【思考・判断・表現】（観察） ・正しくエプロンや三角巾を着用できる。 ・調理器具に触れ、その大きさや量、重さを感じることができる。 【主体的に取り組む態度】（観察・発表） ・楽しみながら学習に取り組もうとしている。 ・振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしている。
第4時	◎給食調理員へ感謝の手紙を書こう ・活動を振り返る ・手紙を書く	【思考・判断・表現】（手紙） ・給食調理員への『感謝の気持ち』を手紙に表すことができる。 【主体的に取り組む態度】（発表） ・振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしている。

12. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・給食調理員の食材の『下ごしらえ』の仕事について知る。
- ・3回洗いで野菜の汚れをきれいに落とすことができる。
- ・楽しみながら主体的に学習に取り組もうとする。

(2) 本時の評価規準

【知識・技能】(観察)

- ・給食調理員の仕事を知る。

【思考・判断・表現】(観察)

- ・正しくエプロンや三角巾を着用できる。
- ・野菜の汚れを落とすことができる。
- ・洗った野菜や水を見比べて汚れの違いに気付くことができる。

【主体的に取り組む態度】(観察・発表)

- ・楽しみながら学習に取り組もうとしている。
- ・振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしている。

(3) 本時の準備物

電子黒板、HDMI ケーブル、iPad、椅子、野菜(葉物やいも類)、プランター、土、タライ、手拭きタオル、ふりかえりカード

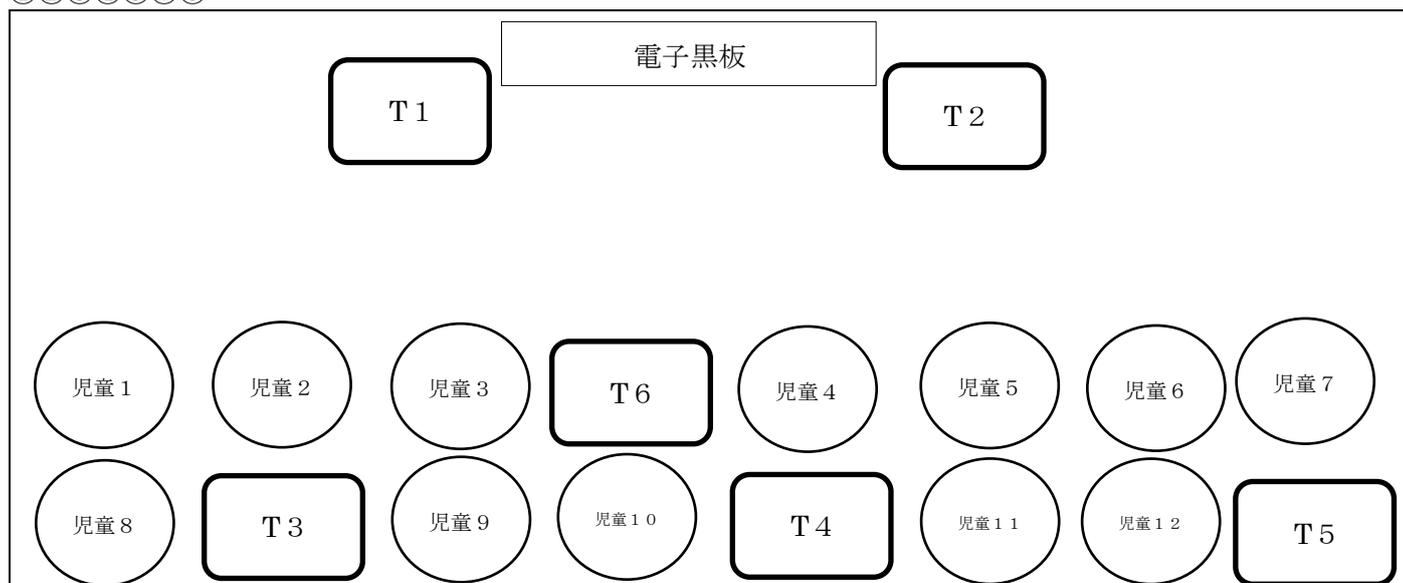
(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点		評価規準 (評価方法)
		T 1 (教諭)	T 2 (栄養教諭)	
3分	①はじまりの挨拶をする。(1組当番)	・当番の児童の方を注目するように促す。		<ul style="list-style-type: none"> ・正しくエプロンや三角巾を着用できる。【【思考・判断・表現】(観察)】
導入	②前時の振り返りをする。	・前時ではどのような活動をしたか思い返せるよう電子黒板に活動の写真を提示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が思い出しやすいよう言葉掛けする。 ・前時に学んだ身だしなみが整っているかのチェックをする。 	
	③本時の予定の確認。 きゅうしょくの 下ごしらえについて知ろう	・今日どのような活動をするのか確認する。		
30分	④絵本『給食室のいちにち』を聞く。	・電子黒板に提示し、絵本への集中を高められるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時取り扱う場面の紹介をする。 ・絵本を読む。 ・絵本の中で給食調理員がどのような仕事をしてきたか説明し、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の中の給食調理員の仕事を知る【【知識・技能】(観察)】
展開	⑤住之江支援学校給食室の様子についての動画や写真を見る。	・どうして3回洗いをするのか発問する。	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の中で給食調理員がどのような仕事をしてきたか説明し、整理する。 	

	<p>⑥『ぴかぴか野菜洗い』をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松菜等の葉物 ・さつまいも等のイモ類 	<ul style="list-style-type: none"> ・1組と2組で分かれ、ひと組ずつ活動する。 ・活動が終わった児童に手洗いするよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を洗う時の方法や注意点を電子黒板に提示し説明する。 ・1槽目、2槽目、3槽目の野菜をそれぞれ見比べ、その違いに気付けるように言葉かけをする。 ・どうして3回洗うのか説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら学習に取り組もうとしている【主体的に取り組む態度】(観察) ・野菜の汚れを落とすことができる【思考・判断・表現】(観察) ・洗った野菜を見比べて汚れの違いに気付くことができる【思考・判断・表現】(観察)
7分	<p>⑦本時の活動を振り返る。</p> <p>「私は/ぼくはぴかぴか野菜洗いがたのしかった/たいへんだった/またしたいです。」</p> <p>児童の実態に応じて、ふりかえりカードを用いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に振り返りの文章を写す。 ・ふりかえりカードを選ぶよう促す。 ・発表が難しい児童には、選んだカードを読み上げたり、一緒に読んだりする。 ・児童の実態に合わせて質問するなど発表の幅を広げる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時間に自分の感想を発表しようとしているか【主体的に学習に取り組む態度】(発表)
まとめ	<p>⑧おわりの挨拶をする。(2組当番)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当番の児童の方を注目するように促す。 		

(5) 本時の教室配置

①②③④⑤⑦⑧



⑥ (1組、2組に分かれてひと組ずつ活動する)

